

## 用語解説

### アスベスト（石綿）

天然にできた鉱物繊維で、熱に強く摩擦にも強い、酸やアルカリにも強いなど、丈夫で変化しにくいという特性を持っています。

### 吹付けアスベスト

アスベストへ結合材を一定量混入し、水を加え、壁・天井等の防耐火・吸音性能等を確保するために吹き付け施工されたもので、概ね昭和 30 年頃から昭和 55 年頃に、鉄骨の梁、柱や空調機械室などに使用されている場合があります。

### 吹付けアスベストの主な使用箇所

構造	使用箇所
鉄骨造建築物	鉄骨の梁、柱、鉄板床 空調機械室、ボイラー室や昇降機などの機械室
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造建築物	空調機械室、ボイラー室や昇降機などの機械室 駐車場の天井、壁

### 吹付けアスベストの特徴

吹付けアスベストは、針が容易に貫入し、その深さは数 cm 程度となります。見た目は、青色、灰色、白色及び茶色に仕上がっています。青色の場合は、クロシドライト（青石綿）による吹付けアスベストであり、茶色の場合は、アモサイトによる吹付けアスベストです。2層吹きになっている場合は、下吹きが青色もしくは灰色、上吹きが白色の場合は吹付けアスベストです。

### 吹き付けアスベスト等の損傷

表面の毛羽立ち、繊維のくずれ、たれ下がり、下地とアスベスト層との間の浮き・はがれ、局部的または全面にわたる凹凸、はく落、はく離が見られる場合、「損傷有」と判断します。

### 除去処理工法

既存の吹付けアスベスト層を下地から取り除く工法です。

### 封じ込め処理工法

既存の吹付けアスベスト層はそのまま残し、アスベスト層へ薬剤の含浸若しくは造膜材の散布等を施すことにより、アスベスト吹付け層の表層部又は全層を完全に被覆又は固着・固定化して、粉じんが使用空間内へ飛散しないようにする工法です。

### 囲い込み処理工法

既存の吹付けアスベスト層はそのまま残し、アスベスト吹付け層が使用空間に露出しないよう、板状材料等で完全に覆うことによって、粉じんの飛散防止、損傷防止等を図る工法です。